



樹立社・新刊案内

102-0082 千代田区一番町 15-20-502
TEL 03-6261-7896 FAX 03-6261-7897

中国少年文学館②

2020年

8月10日発売!

『青銅とひまわり』

曹文軒◎著

中由美子◎訳

【読者：中学生から】

◎中国児童文学を代表する作家、曹文軒の傑作!七歳の少女ひまわりと、声をなくした少年青銅の物語。大川とアシ原に囲まれた農村を舞台に、貧しくも深い愛情で結ばれた家族がひたむきに生きる姿を、詩情あふれる描写でつづる!

◎七歳の少女ひまわりは、父と共に大勢の大人と都会から農村へやってきます。やがてひまわりは、口のきけない少年青銅と出会い、心を通わせます。そんなある日、父が事故死し、ひまわりは天涯孤独に。皆はひまわりを愛していましたが、対岸の村に助けを求め、ひまわりは青銅の家族に迎えられます。貧しくとも深い愛情で結ばれた暮らしが永遠と思われていたころ、突然に別れが訪れて…。人間の本質を問いかける中国児童文学の傑作。



定価:本体1,600円+税

ISBN978-4-901769-94-5

440頁 B6判 C8097


2020年8月10日発売

著者紹介 曹文軒 (ツァオ・ウェンシュエン)

1954年、江蘇省塩城市生まれ。作家。北京大学教授。過酷な運命に立ちむかう強い子ども像を創り出し、「児童文学は文学である」と主張、1980年代中国児童文学の旗手として活躍。代表作『草房子』は『草ぶきの学校』として映画化。邦訳に『とおくまで』『風のぼうけん』『樹上の葉 樹上の花』(以上、樹立社)。『サンサン』(てらいんく)『よあけまで』(童心社)『はね』(マイティブック)などがある。2016年国際アンデルセン賞作家賞受賞。

訳者紹介 中由美子(なか・ゆみこ)

長崎市に生まれる。縁あって中国語を学び、中国の児童文学と幸せな出会いをして現在に至る。著書に『中国の児童文学』(久山社)、訳書に『ともだちになったミーとチュー』『木の耳』『ちがうかな? ヘンかな?』(以上、樹立社)、『絵本西遊記』『よあけまで』『京劇がきえた日』『火城 燃える町1938』『父さんたちが生きた日々』(以上、童心社)、『学校がなくなった日』(素人社)ほか。

注文書	 樹立社 FAX 03-6261-7897 【新刊委託】	
	中国少年文学館② 『青銅とひまわり』 曹文軒◎著 中由美子◎訳	定価：本体1,600円+税 ISBN978-4-901769-94-5 440頁 B6判 C8097
	部	